

平成 2 0 年 死 亡 災 害 発 生 状 況

沖縄労働局

番号	場所	型 別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	性別	発注者別	発 生 状 況
1	中部	激突され	建設用機械	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	6月中旬	40代	1～9	男	民間	基礎地梁コンクリート打設中、生コン圧送ポンプ車の2段目ブームが折れて圧送管が足場上にいた作業員に当たり、約3メートル下の地盤に転落し頭蓋骨骨折により死亡した。
2	離島	飛来、落下	玉掛用具	その他の 食料品製造業	6月中旬	30代	30～49	男		鉄骨製架台(重量0.54t)を移動式クレーン(車両積載型トラッククレーン)の荷台に積み込むため、台付ワイヤロープ(径6mm。端部と端部をクリップで結束したもの)を玉掛けに流用し、当該移動式クレーンを用いて架台をつり上げたところ、当該ワイヤロープの端部がクリップから抜けたため架台が落下して横倒しになり、付近にいた玉掛け者が架台の下敷きになったもの。
3	南部	墜落、転落	足場	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	8月中旬	20代	50～99	男	地方公	体育館改築工事のため設置された足場の最上段(約19m)にて体育館屋上のプール部分へのコンクリート打設作業により発生したコンクリート片をバケツに入れ、足場に設置されたウインチで地上に降ろす作業中、2段あった手すりの下段部分がはずれ、その手すりと共に地面に墜落した。
4	北部	感電	送配電線等	電気通信工事業	9月上旬	50代	1～9	男	民間	配電工事で、高圧活架線(6600V)の巻きつけバインド取替え作業中、休憩のため、高所作業車を下降しようとした際、高圧活線に肩が触れ、感電した。その後、9月下旬に死亡した。
5	中部	激突され	移動式クレーン	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	9月下旬	50代	1～9	男	民間	小型移動式クレーンを使用して建築資材を搬出しようとしたところ、当該クレーンの2段目ブームが突然折れ曲がって倒れ、ブーム先端に取り付けられている鋼製の籠が、ブーム下方で作業を行っていた作業員に激突した。籠は、ブーム先端にボルトで固定されているが、作業時は籠は使用せず、通常の吊り作業が行われていた。
6	中部	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	港湾海岸工事業	8月中旬	30代	1～9	男	地方公	自宅から会社事務所に寄り、現場の図面等を取ったあと、現場にバイクで向かっていたところ、乗用車と正面衝突した。被災者は意識不明の重体で病院に搬送され、同日死亡が確認された。